

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	大雨などで洪水が発生する際、浸水する可能性があるが、利用者誘導の方法の確立と備蓄品の十分な確保ができていない。	誘導方法の確立と避難開始のタイミングについて明確な指標を作る。また、備蓄品については18人の入居者及び職員用として24人分を1週間分目標に備蓄を準備する。	・誘導方法については具体的な方法を地域住民も議論に加わってもらうなどして検討する。可能であれば地域住民参加で避難訓練も行う。 ・避難開始のタイミングは法人に再度相談する。 ・備蓄品の洗い出しと追加購入	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。